

【基礎ゼミナールⅠ】スタートアップゼミ 29fy_2 (木)3_ KS 教員 杉山 務
 URL : http://faculty.hakuoh.ac.jp/ip/29/29KS_pack.html メール : sugitom@fc. (略)

【授業のねらい】

知的財産を題材として、社会における知的財産の活用状況の一端を理解しながら、読み書き聞く話す力であるスタディ・スキルの養成を目的とし、加えて、調査力と思考力の涵養に努める。

【授業の内容】

テキストとして「ヒット商品はこうして生まれた」(日本弁理士会)を利用し、受講生が担当の事例について、他の受講生が初耳であろう関連する事項を1点加えて紹介するとともに、他の受講生はコメントする。加えて、商品の改良品を考えて提案する。自分の発表資料は提出し、全員にフィードバック

各回にオプションとして、プラスαの若干の話題提供

後半は、プレゼンテーションソフトを使用した発表資料を作成し、発表する。

【授業計画】

第1回	9/28	オリエンテーション：自己紹介授業の進め方と内容 (資料1：冊子，リスト)
第2回	10/5	発表その1 記号の表現 (資料2：表現) 一致点・相違点の抽出及び表現
第3回	10/12	発表その2 違和感 (資料3：偽物 & 真正品)
第4回	10/19	発表その3 文章の書き表し方 (資料4：文章の表現)
第5回	10/26	発表その4 報道文章の検証 (資料5：本当のところは何か)
第6回	11/2	発表その5 記憶ピラミッドとメラビアンの法則 (資料6：見た目が大事)
第7回	11/9	発表その6 プレゼンチェック (資料7)：<コンピュータ室を利用予定>
第8回	11/16	発表その7 メールの留意 (資料8：CCを意識していますか)
第9回	11/30	発表その8 法格言 (カルネアデスの板)
第10回	12/7	発表その9 江戸しぐさ (資料10：傘かしげを御存じ)
第11回	12/14	発表その10 差額返します (資料11：多く取った金を見つければ返す)
第12回	12/21	発表その11 中国の中の日本語 (資料12：中国人が使っている日本語)
第13回	1/11	発表その12 真実は何 (資料13：勝手に解釈していませんか)
第14回	1/18	発表その13 論理入門 (資料14：晴れたら学校へ行く⇒雨ならば?)
第15回	1/25	発表予備と纏め 計算の工夫から (17×19=)

【進め方】履修者人数により変更の可能性がありますが、おおよそ次のとおり進行する。

- 1 資料についてグループで検討し、検討結果を発表する。
- 2 新しい関連事項を含めてテキスト内容を検討し、紹介する。
- 3 テキストにない新しい関連事項に加え、改良品のアイデアを紹介する。
- 4 コンピュータ室でプレゼンテーションソフトを使用して紹介 (報告書はスライドで代用)
資料として、思考の深化のための話題提供材料、及びテキスト

【成績評価の方法】

・受講生発表：50%，報告：50% 最も興味を引いたテーマ事例についての発表内容と発表の仕方について、アドバイスと参考とするところ、自分の発表も含む授業の感想。これらは全員の参考に供する。 ☆ 正当な理由で出席できない場合は、申請により救済措置あり

【その他】

指定のない限り、提出物はA4用紙を使用し、鉛筆の使用は不可

・授業開始から終了まで、携帯端末は視認外に収納のこと

テキスト「ヒット商品はこうして生まれた」(日本弁理士会)に含まれていない商品についての発表も可 参照：日本弁理士会：<http://www.jpaa.or.jp/webbook/hit28/#page=1>